

## 4 南部地域

### (1) 地域の概要

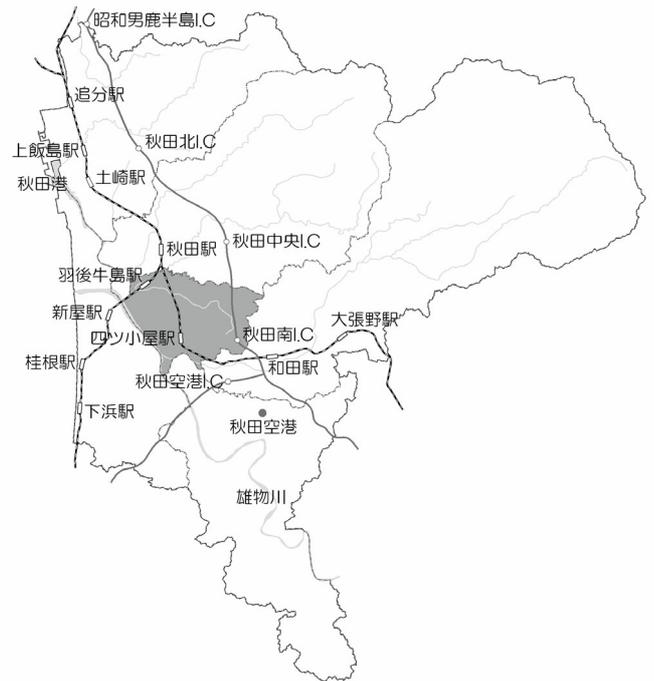
#### ① 概況

南部地域は、豊かな水田と丘陵地で構成された田園空間の中に、中央地域の中心市街地から住宅地が徐々に拡大しながら形成されてきた市街地が広がっています。

また、四ツ小屋駅周辺には本地域の地域中心となる秋田新都市地区(御所野ニュータウン)が整備されています。

秋田新都市地区は、職住近接型のニュータウンとして開発された大規模団地で、住宅地のほか商業・流通・工業機能も有しており、本市の新たな都市拠点としての役割を担っています。

郊外部には、秋田赤十字病院が立地しており、市の医療を支える拠点となっています。

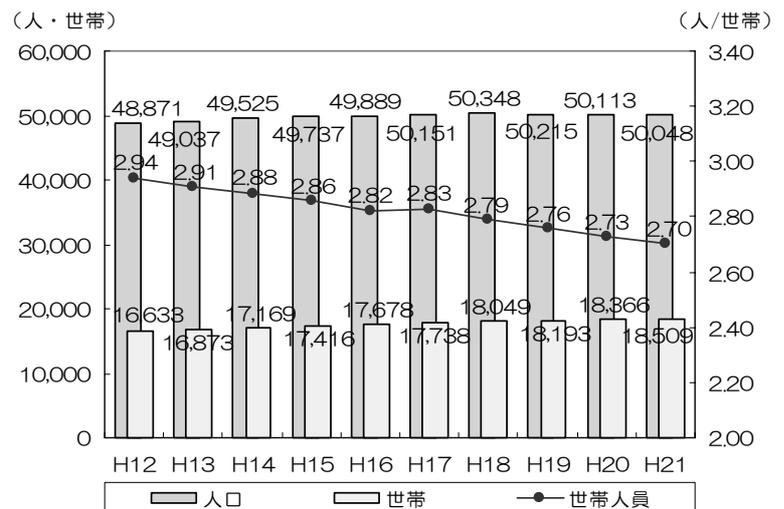


#### ② 人口・世帯数の推移

全国的な人口減少の中、南部地域においては、秋田新都市地区の影響によって、平成21年10月1日時点の人口が50,048人と、平成12年から10年間で約2.4% (1,177人) 増加しています。

また、世帯数についても、平成21年で18,509世帯と10年間で約11.2% (1,876世帯) 増加しており、1世帯当たりの人員は2.94人/世帯から2.70人/世帯に減少しています。

地域内の年齢別人口構成比(平成17年国勢調査より)をみると、年少人口(15歳未満)が15.0%、生産年齢人口(15~64歳)が65.2%、老年人口(65歳以上)が19.7%と、7地域の中で最も年少人口割合が高く、老年人口割合が低い地域となっています。



※住民基本台帳(各年10月1日時点)より。H12,17は国勢調査結果

### ③ 土地利用の状況・課題

南部地域の面積は約 4,170ha で、全域が秋田都市計画区域（線引き都市計画区域）に指定されています。地域の北西部に広がる市街地と秋田新都市には用途地域（約 1,210ha）が指定されており、田園・丘陵地帯には、農業地域の農用地区域（約 970ha）や森林地域の地域森林計画対象民有林（約 1,130ha）が指定されています。

また、良好な都市景観を保全すべき地域として、金照寺山風致地区が指定されています。

#### 【商業・業務地】

地域内の既存市街地内を通過する国道 13 号の沿道にも商業施設が立地しており、近隣住民の身近な買い物の場となっています。

また、秋田新都市地区では、レクリエーション施設を併設する大規模な商業施設やスーパーが整備されており、市内のみならず他都市からも多くの利用客が訪れています。今後も県有数の商業拠点として、その機能の維持・充実が求められています。

#### 【住宅地】

大規模な団地開発によって整備された秋田新都市地区は、職住近接型のニュータウンとして、都市基盤が整備された良好な住宅地が形成されています。近年でも新たな人口の流入が見られており、今後も定住人口の確保に向けた、質の高い居住環境の維持が求められています。

牛島・仁井田地区などの既成市街地では、大小様々な住宅団地が整備されており、御野場地区にも、大規模開発によって御野場団地が整備され、比較的密度の高い住宅地が広がっています。

また、上北手地区の周辺でも大規模な住宅団地が整備されています。

#### 【工業地】

秋田新都市地区では、住宅地周辺に居住者の就業の場となる流通団地と工業団地が整備されています。ただし、未利用地も多く残されていることから、高速道路に近接する立地特性を活かした企業誘致が求められています。

また、卸町には、地域の雇用と産業を支える卸団地が整備されており、流通業務施設が立地しています。

#### 【農地・自然環境】

主に地域の西側に広がる平野部には、まとまった優良農地が確保されており、良好な田園空間が形成されています。

東側に広がる丘陵地帯は、谷筋の農地と集落によって、昔ながらの良好な里地里山環境が保全されています。一部では急傾斜地崩壊危険箇所など防災関連の指定がなされており、安全・安心な地域づくりに配慮した環境の保全・管理が求められています。

また、地域の西側には広大な河川緑地を有する雄物川が流れており、南北にも地域の境界となる岩見川と太平川、地域の中央付近には猿田川が流れるなど、多くの河川を有しています。

#### 【その他の拠点・都市機能】

秋田新都市地区には、秋田テルサやゴルフ場などの文化・スポーツ機能を有する施設や福祉機能を有する施設が整備されています。

上北手地区では秋田赤十字病院が整備されており、併設された日本赤十字秋田看護大学とともに、市全体の医療拠点としての役割を担っています。

また、地域住民の憩いの場となる水と緑の拠点として、一つ森公園や御所野総合公園が整備されており、雄物川の河川緑地もスポーツ拠点として活用されています。

仁井田地区に残されている農業試験場跡地については、地域活力の創出に向けた土地の有効活用が求められています。

### ④ 交通施設の整備状況・課題

#### 【広域交通】

広域交通を担う道路として、地域内を秋田外環状道路(高速道路)が通過しており、秋田新都市地区に近接して秋田南インターチェンジが整備されています。また、河辺地域に整備されている日本海東北自動車道の秋田空港インターチェンジと秋田新都市地区を結ぶ道路として、県道秋田御所野雄和線の整備が進められており、秋田新都市地区の工業団地・流通業務団地と高速道路との連携強化が図られています。

#### 【地域間・地域内交通】

広域的に通過する交通を市街地から排除するための外周部環状道路として、秋田外環状道路(高速道路)、国道 13 号、県道秋田御所野雄和線が整備されています。また、都心部の通過交通を排除するための市街地環状道路として、国道 13 号と都市計画道路横山金足線が整備されています。

河辺地域と外周部環状道路を結ぶ放射道路および環状道路網を相互に連絡する分散導入路として、国道 13 号と県道秋田御所野雄和線が位置づけられています。各路線の未整備区間については、関係機関との調整による計画的な整備が求められています。

また、雄物川や岩見川の堤防には、雄和仁別自転車道や秋田河辺雄和自転車道の広域自転車道路ネットワークが形成されており、その適切な管理と有効活用が求められています。

#### 【公共交通】

本地域には、JR 奥羽本線の四ツ小屋駅と JR 羽越本線の羽後牛島駅が整備されています。また、幹線道路を中心として、バス路線も複数整備されており、他の地域と比べ公共交通の利便性が高い地域となっています。

しかし、秋田新都市地区から鉄道駅までのアクセス性や、鉄道とバス路線との連絡性が課題となっており、公共交通の連携強化による交通利便性向上が求められています。

## ⑤ その他の状況・課題

### 【景観形成】

本地域は、平野部に広がる田園景観や丘陵地の里地里山景観、雄物川や猿田川などの河川景観など、多様な自然資源を活かした良好な景観が形成されています。

また、市街地内にも街なかの緑地環境を象徴する金照寺山風致地区が指定されており、地域の豊かな自然景観の保全・管理が求められています。

## (2) 目指すべき地域の姿

### 豊かな緑と美しい街並みが調和した 田園都市

- 多様な都市機能が集積した 生活利便性の高いにぎわいのあるまちづくり
- 良好な田園空間と調和した 質の高い住宅地づくり
- 幹線道路や公共交通が整備された 交通利便性の高いまちづくり

本地域は、秋田新都市地区を中心として、商業・産業・医療・交通などの多様な都市機能が集積する生活利便性の高い地域です。今後も未利用地への企業誘致など、都市機能の更なる充実を促進し、地域内外から多くの人が集まる活力あるまちづくりを目指します。

また、田園・丘陵地域や雄物川の水辺空間など、本地域が有する豊かな自然環境については、引き続き適切な保全活動を促進します。市街地においても、周辺の田園環境との調和に配慮しながら、ゆとりある居住環境の形成を図ります。

秋田新都市地区については、本地域だけでなく、周辺地域の都市機能を補完する拠点となることから、鉄道やバス路線など、既存の公共交通機関の連携強化や幹線道路の整備を促進し、都心部や周辺地域への高いアクセス性を有する、交通利便性の高いまちづくりを目指します。

### (3) まちづくりの方針

#### ① 土地利用の方針

##### 【地域中心における都市機能の充実】

- 商業施設や住宅地、工業地など職住近接型の市街地が計画的に整備され、教育機関や福祉施設などの多様な都市機能が計画的に集積されている秋田新都市地区を、南部地域の地域中心として位置づけます。
- 県内でも有数の商業拠点として、周辺地域の商業機能を補完する役割も担っており、引き続き既存機能の維持・充実を促進します。
- 多くの住民が生活する住宅団地として、地域の交流や学習の場となる行政・文教機能の充実を目指し、多様な主体の連携を図りながら、関連施設が進出・集積しやすい環境づくりを促進します。
- 持続可能な地域づくりに向けて、周辺の工業団地等への企業誘致による地域住民の就業の場の確保を促進し、地域中心内での定住人口の確保・集積を図ります。また、将来的な地域の高齢化を見据え、高齢者ニーズに対応した福祉機能の充実を促進します。
- うるおいある都市環境づくりに向けて、地域住民の協力による敷地内緑化の促進や沿道の緑化活動などにより、計画的な緑の保全・創出を促進します。

##### 【快適な居住環境の形成】

- 秋田新都市地区や御野場団地など、大規模開発によって整備された住宅団地については、道路や上下水道、公園などの都市基盤が整った住宅地が形成されていることから、今後も良好な居住環境の維持・更新を図りながら、他都市などからの流入による定住人口の拡大を促進します。
- 小規模開発や個別開発によって形成されてきた既存住宅地については、地区計画や建築協定などの制度を活用しながら、生活道路の改良・改修や敷地内緑化などを促進し、居住環境の向上に努めます。
- 地域北側の丘陵地周辺に開発されている住宅団地など、既に地区計画の指定がされている住宅地については、地区計画に基づいて、豊かなみどりやゆとりある空間を活かした良好な居住環境の形成を誘導するとともに、未分譲地での住宅建設を促進し、定住人口の拡大を目指します。

##### 【地域の活力向上に向けた環境整備】

- 秋田新都市地区に整備された工業団地や流通業務団地については、地域産業の振興や地域住民の雇用の場として、秋田空港や高速道路等の広域交通網に近接する立地特性を活かしながら、積極的な企業誘致の促進による未利用地の解消を図ります。

- 秋田新都市地区内の北側に位置づけられている複合系市街地においては、地区計画に基づいて商業・業務ゾーン、福祉・研究・住居ゾーン、産業・物流ゾーンの3つのゾーンの形成に努め、良好な市街地の誘導を促進します。
- 羽後牛島駅周辺においては、周辺住民の生活に密着した身近な商業地づくりを目指し、関連施設の進出に向けた環境整備を促進するとともに、統一感のある街並みづくりやイベントの実施など、既存商店街の魅力づくりに努めます。
- 農業試験場跡地については、地域の魅力創出のための利活用に向けて、土地所有者である県への働きかけなど、必要な取組を進めます。

#### 【自然環境の保全・管理】

- 本地域の東側に広がる丘陵地帯については、本市ならではの里地里山空間を形成する貴重な資源として、市民や企業、行政など多様な主体の連携・協働によって、自然環境の保全・管理を図ります。
- 一つ森公園については、市街地に隣接する自然・歴史に触れ合える大規模公園として、適切な維持・管理を図るとともに、イベントの開催や機能の充実による魅力向上に努めます。
- 良好な自然環境を有している金照寺山風致地区の環境保全を図ります。
- 地域内に流れる雄物川や猿田川などの河川については、市民や行政などの多様な主体の協働に基づく積極的な美化活動等により、市民生活にうるおいを与える水辺環境の保全と魅力ある河川環境の創出を促進します。

#### 【田園環境の保全・管理】

- 西側の平野部や丘陵地の谷筋に広がる田園地帯については、無秩序な開発の抑制により良好な営農環境の維持・保全を図るとともに、農道・水路等の農業基盤の適切な維持・改修により農業生産環境の向上を促進し、優良農地の保全を目指します。
- 農業従事者の高齢化や後継者不足などを背景として、増加が見込まれる耕作放棄地については、農地情報の適切な管理と農地利用を推進し、耕作放棄地の発生抑制を目指します。
- 田園地帯に点在する農村集落については、生活道路や下水道施設などの維持・改修を図りながら、生活環境の向上を促進するとともに、コミュニティの維持・活性化に資する都市計画制度等の導入を検討します。

## ② 交通体系の整備方針

### 【幹線道路の整備促進】

- 地域中心と高速道路のインターチェンジを結ぶ国道 13 号や県道秋田御所野雄和線の管理・更新を図り、高速道路と地域内産業団地とのアクセス性の維持・強化を促進します。
- 地域内を通る外周部環状道路や市街地環状道路などの環状道路を構成する国道 13 号や都市計画道路横山金足線などの広域幹線道路については、関係機関との調整を図りながら、その機能の維持・向上に向けた計画的な維持・更新を促進します。
- 外周部環状道路に連絡する放射道路や環状道路網を相互に連絡する分散導入路については、その機能の維持・向上に向けた適切な維持・管理を促進します。

### 【持続可能な公共交通の確保】

- 地域中心の交通結節拠点となる四ツ小屋駅については、利用者の拡大に向けて、住宅地と駅を結ぶバス路線の充実やライドアンドライドなどを促進しながら、地域中心からのアクセス性向上を目指します。
- 牛島地区の既成市街地の交通結節拠点となる羽後牛島駅については、都心部への良好なアクセス性の維持を図るとともに、バス路線との連携強化を促進し、公共交通機関の利用者の拡大を目指します。
- 鉄道駅から秋田赤十字病院などの都市拠点へのアクセス性の確保を目指し、バス路線の再編などによる公共交通網の充実を促進します。

### 【安全で快適な道路環境づくり】

- 牛島地区の既存住宅地など、狭隘道路が残されている地域については、住民の協力を得ながら地区計画等のまちづくりのルールを導入し、道路改良や交通安全施設の充実などを進めながら、安全で快適な道路環境の整備を促進します。

## ③ その他の方針

### 【地域資源を活かしたまちづくり】

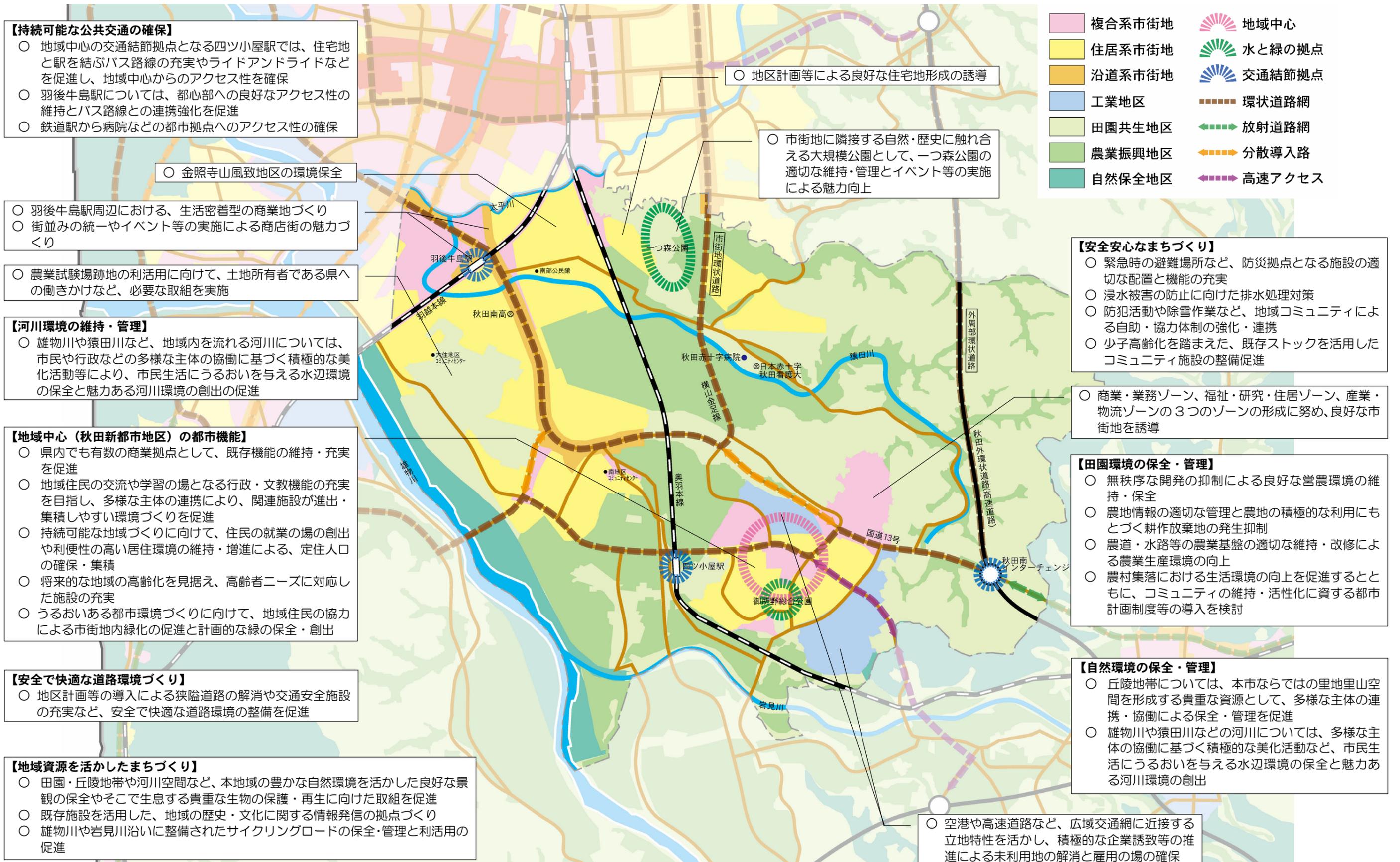
- 田園・丘陵地帯や河川空間など、本地域の豊かな自然環境を活かした良好な景観の保全を図るとともに、そこで生息する貴重な生物の保護・再生に向けた取組を促進します。
- 公共公益施設などの既存ストックを活用しながら、地域の歴史・文化に関する情報発信を担う拠点の整備や、地域特有の自然や歴史・文化の保全に取り組む人材の育成を促進します。

- 雄物川や岩見川沿いに整備されたサイクリングロードについては、関係機関との調整を図りながら、適切な保全・管理および良好な河川景観の創出を促進し、利用者の拡大による有効活用を目指します。

#### 【安全安心なまちづくり】

- 公共施設などの既存ストックを活用しながら、緊急時の避難場所など、防災拠点となる施設の適切な配置と機能の充実を図り、安全安心なまちづくりを目指します。
- 複数の河川を有する本地域においては、台風や大雨などによる平野部での浸水被害の防止や水質の保全に向けて、適切かつ計画的な排水処理対策を促進します。
- 高齢化への対応や地域の一体感の醸成に向けて、行政との連携を図りながら、防犯・防災活動や冬期の除雪作業など、地域住民が主体となったまちづくり活動の展開を目指します。
- 地域の高齢者と子ども達が日常的に交流できる場の創出など、既存ストックの活用を図りながら、少子高齢化を踏まえた地域コミュニティ施設の整備を促進します。

## ■ 南部地域構想図



- |        |        |
|--------|--------|
| 複合系市街地 | 地域中心   |
| 住居系市街地 | 水と緑の拠点 |
| 沿道系市街地 | 交通結節拠点 |
| 工業地区   | 環状道路網  |
| 田園共生地区 | 放射道路網  |
| 農業振興地区 | 分散導入路  |
| 自然保全地区 | 高速アクセス |